

2006 年度

科目名 ゼミナールⅡ	対象学科・学年 文学部教福4回生	担当者 開沼 太郎
授業テーマ 卒業研究（論文の制作）を通して、教育課題への認識と探究を深め、研究手法の獲得を目指す。		
授業の概要と目標 前年度のゼミナールⅠにおいて考察を進めてきた各自の問題関心をもとに、卒業研究の完成に必要な各種の技法（先行研究や資料の収集および分類、章構成や要点整理、調査分析に関する手法など）を整理確認しながら、大学生生活の集大成として論文作成に携わることで、教育課題への理解を深める。		
評価方法 評価は、授業参加の状況（出席状況、発言・報告内容、課題提出など）および卒業研究の内容をもとに、平常点で実施する予定である。試験は実施しない。		
テキスト 講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 各自の問題意識の確認と整理をもとに、内容および進行方法を決定する予定である。 前半期（1～15）は、 論文作成に必要な研究技術の確認 個人発表 集団討議・検討 などを中心に進める予定である。 後半期（16～30）は、 個人指導 （章構成の確認、執筆、内容の検討） を中心に進め、適宜全体討論の機会を設けながら相互の進捗状況や内容についての理解を深める予定である。 ※ 授業では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。		